

## 金銭教育

### 「お小遣い ある ある!」

こんなことありませんか?

放課後、小学校3年生のゆうきさんのクラスでは、お小遣いのことが話題となっていました。

「ぼくは、毎月お小遣いをもらっているよ。貯金もしているんだ。」と、まことさんが言いました。

「わたしは、お手伝いをしたときに家の人からお小遣いをもらうわよ。」と、ひろ子さんが言いました。

お小遣いのことをあまり意識したことがなかったゆうきさんは、少し複雑な気持ちになりました。



ワーク1

あなたは、ゆうきさんから学校の話聞いてどう思いましたか?

.....

.....

.....

.....



## ワークシート2

## ワーク2

子どものお金の使い方について困っていることはありませんか？  
また、お小遣いの渡し方で、どんな工夫をしていますか。

.....

.....

.....

## ◇他の方の意見をメモしましょう◇

  
いいね!

  
いいね!

今日気が付いたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか？

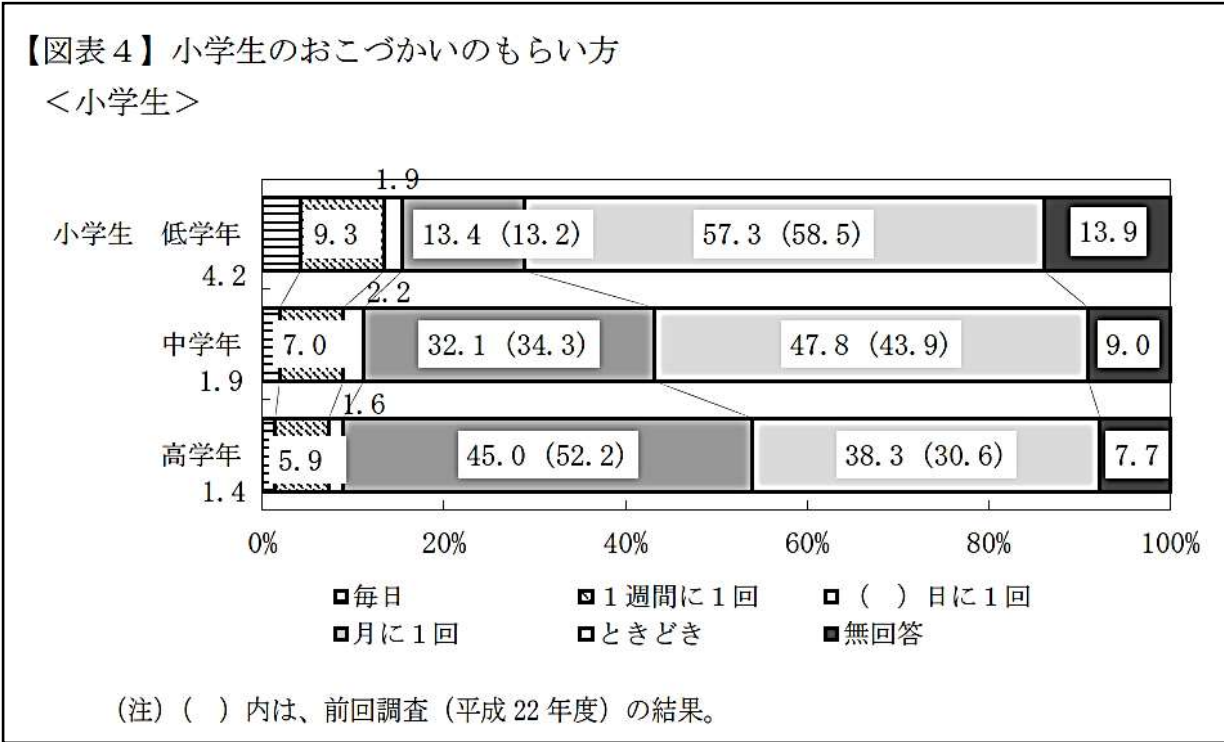
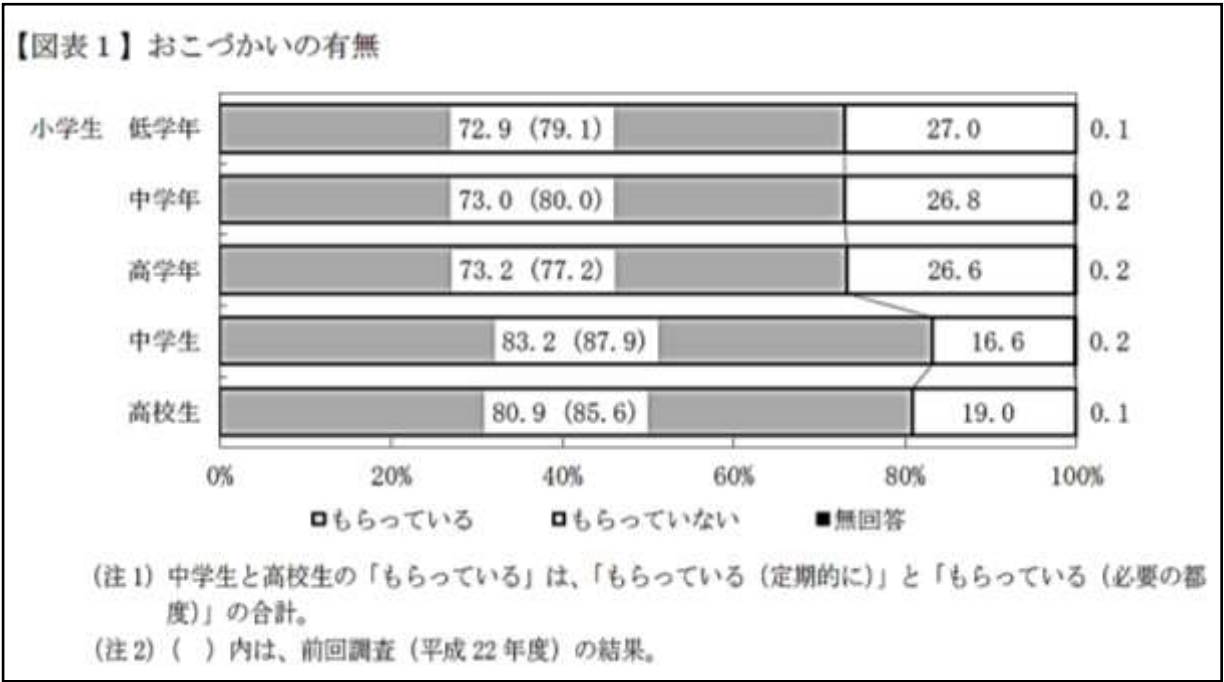


.....

今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



キャッシュレス化が急速に進み、子どもたちはお金の価値や貯金の意味をイメージしにくくなっているのではないかな？  
だからこそ、実際にお小遣い（現金）を手にして、自分で使い方を考えて行動する経験を積み重ねることが大切なのだよ。



出典:知るぽると 金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」(第3回)2015年度調査

**家庭によってお小遣いの渡し方や金額は、さまざま。**

・定額制:週・月単位で決まった金額を渡す    ・都度渡し:必要になったときにその都度渡す  
 ・報酬制:お手伝いなどの対価として渡す などなど。  
 家庭によって、さまざまな渡し方があるのね。





49

#### 4. 家庭でのルール

### 家事を手伝わせたら、 子どもがしっかりしてきた。

子どもたちの自己中心的な言動や自立の遅れの背景には、自己責任の考え方が身につけていないことがあります。とかく親は子どもを甘やかしがちで「自分のことは自分です」などのしつけがされないことが多いようです。

例えば、年齢に応じておこづかいの額やお手伝いなどの家庭内のルールを決め、子どもの成長に応じて責任と自立を促していくことが大事でしょう。「自分の欲しいものを自分のおこづかいで買う」経験は、子どもたちにとってかけがえのないものです。

また、お手伝いは生きていく上で最低限必要な家事を学ぶ第一歩と言えるでしょう。買い物に行けるようになり、家の中の整理整頓ができるようになることで、自信にもつながります。

責任感や自立心を育てる

48



## オンラインゲームトラブル

**無料のはずが高額請求されたり、子供が知らない間に高額課金したりしていることも。そうなる前に親子でゲームの遊び方を話し合ってから、楽しみましょう！**



**危険！クリック前に チェック！**

テレビで無料とCM をしているゲームサイトに、無料ならと思い、娘のために自分のスマホで登録をしました。娘は本当のお金が必要だと思わず、アイテムを多数購入して遊びました。後日カード会社から約10 万円もの請求書が届きました。

**危険！クリック前に チェック！**

カード会社からオンラインゲームの利用料金約2 万円の請求がありました。驚いて息子に聞くと、ゲームの利用について友達に教えてもらい、無断でカードを持ち出して使ったことを認めました。息子の話では、年齢確認画面を11 歳にしたらゲームができないので、20 歳以上と入力したとのことでした。

出典：消費者庁ウェブサイト ([https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_policy/caution/internet/trouble/online.html](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/caution/internet/trouble/online.html))

オンラインでの買い物のように、顔の見えない買い物、現金を扱う感覚のない買い物は、要注意だよね!!



金銭感覚は、自分で使ってみる体験の積み重ね!

## チャレンジ! 予算内で買い物体験!!



### お金を使う機会を意識的に作ること!

キャッシュレス時代に育つ子どもたち。  
財布の中の現金が買い物によって減るという当たり前のことを実感しないで育ち、'お金の価値'を感じる事が難しくなっていることが心配じゃ。

### 今日の夕食は、カレーライス!

ゆうきさん、夕食の買い物に行かないか。夕食は、カレーライスにしようかな? カレーライスは、肉・ジャガイモ・ニンジンなど、材料がわかりやすいから、予算を1,000円として一緒に買い物してこよう。



### 予算内で工夫!

予算は、1,000円だね。家族は4人だから…。材料で一番高いのは…。任せてよ!

### 買い物の現場で、伝えていく楽しさ!

一緒におしゃべりしながら買い物することは、お金を使うときの姿勢や考えを教える実践的な場になるのよ。




### お小遣い帳で、使ったお金が見える化!

ゆうきさん、今度からお小遣い帳をつけてみようか。お小遣い帳を活用すると、無駄遣いのクセに気づいたり、予算を考えて行動するきっかけになったり、上手なお金の使い方ができるようになっていくわよ。



ねらい

- 急速にキャッシュレス化が進む社会環境の中で、わが子へのお小遣いの渡し方について意見を交流する活動を通し、よりよい金銭感覚を身に付ける工夫について話し合います。

時間	進め方	留意点
10分	<p><b>はじめのことば</b></p> <p>「みなさん、こんにちは。本日は参加いただきありがとうございます。今日は『お小遣い』について考えましょう。」</p> <p><b>アイスブレイク</b></p> <p>「最初にみなさんで簡単なゲームを楽しみましょう。やり方を説明します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆グループ内で順番に自己紹介をする。</li> <li>◆自己紹介の中に「旅行したい場所」を必ず入れる。</li> </ul>	<p>◇笑顔で親しみやすい言動を心がける。</p> <p>◇ワークシート1・2、資料1～4を必要に応じて、人数分を準備する。</p> <p>◇「7 アイスブレイク①」参照。</p> 
30分	<p><b>3つの約束の確認</b></p> <p>「これから活動に入りますが、その中でみなさんに守ってほしい約束が3つあります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆3つの約束を確認する。</li> </ul> <p><b>ワークショップ</b></p> <p>「まず、ワークシートをご覧ください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆『こんなことはありませんか?』を読む。</li> </ul> <p>&lt;ワーク1&gt;</p> <p>「ゆうきさんの話を聞いて、どう思ったか交流しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭では、どんなふうにお小遣いを渡しているのだろう。</li> <li>・早い時期から、物やお金を大切にすることを育てたい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</li> </ul> <p>&lt;ワーク2&gt;</p> <p>「子どもお金の使い方で困っていることや、お小遣いの渡し方で工夫していることを交流しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</li> <li>・キャッシュレス化が進むから、一層、現金を扱う体験を大切にしたい。</li> <li>・月に一度、決まった額を渡している。</li> <li>・その都度、ほしい金額を渡している。</li> <li>・お手伝いをしたとき、お小遣いを渡している。</li> </ul>	<p>◇「3 3つの約束」参照。 家庭内の話題も出るため、信頼関係が大切であることを理解してもらう。</p> <p>◇「5 進行役について(1)子育てサロン型」参照。</p> <p>◇お小遣いの現状や今日的な課題(資料1～4)を参考にする。</p> <p>◇資料4を活用し、家庭での実践につながるよう進めるとよい。</p> <p>◇時間配分を考え、全員に話す機会を与える。</p>
20分	<p><b>振り返り</b></p> <p>「今日の話し合いを聞いて、よいと思ったこと、実践してみようと思ったことはどんなことでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</li> <li>・お小遣いをどう使っているか見届け、考えていきたい。</li> <li>・わが子の買い物する体験を増やしていきたい。</li> <li>・課金の怖さも合わせて教えていきたい。</li> </ul> <p>「いろいろな意見の中には、今日からいかせそうなヒントがありました。私は〇〇さんの△△という意見がなるほどと思いました。これからも積極的に、子育てについて交流しましょう。」</p>	<p>◇代表で1～2人に話してもらう。</p> <p>◇進行役が参加者と同じ目線で「こんなヒントをもらった」という話ができるとうよい。</p>